



# KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭



今秋、茨城県の北部6市町を会場とした国際芸術祭が開催されます。

その会場の一つである、常陸多賀駅前商店街に設置展示されるアート作品「ヒタチタガ・コンクリート・マンガ・ベンチ・コレクション」にグラフィックコンクリートを使ったキュービックなコンクリート・380CUBEを採用していただきました。

茨城県“ご当地”の芸術祭に、個性の際立つ地産のエレメントを集結することができました。

アーティスト山本美希さん(漫画家、筑波大学助教)には、5つのテーマでデザインしていただきました。コンクリートをキャンバスにするのは初めてのこと。

製造メーカーは高橋カーテンウォール工業(つくば工場)、日本興業・新茨中(笠間市)、富士セメント工業(笠間市)。首都圏の街・景観づくりをPCコンクリート製品で下支えするPCメーカー各社です。グラフィックコンクリートを活かした製品作りに日頃より取り組んでいただいています。

使用する材料は常陸寒水、桜川の錆石など近隣で採取されるものをベースに表情豊かな5種類の調合で土地の風土に自然とよく似あいます。

グラフィックコンクリートを活かした人の知恵の結び方をご提案しています。アートピースは引き続きバス停の腰掛として、しばしの憩いの場を提供するツールとして残ります。秋の移ろう自然と感性の刺激を感じに、この機会に是非お立ち寄りください。



## 開催概要

茨城県北芸術祭(KENPOKU ART 2016)

【テーマ】海か、山か、芸術か?

【会期】2016年9月17日(土)から11月20日(日)まで[65日間]

【開催市町】日立市、高萩市、北茨城市、常陸太田市、常陸大宮市、大子町

【総合ディレクター】南條史生

【主催】茨城県北芸術祭実行委員会

【作品数】約100(20か国と地域より参加)

【主な展示会場】①五浦・高萩海浜エリア ②日立駅周辺エリア ③奥久慈清流エリア ④常陸太田鯨ヶ丘エリア

※常陸多賀駅前商店街に設置展示されるアート作品「ヒタチタガ・コンクリート・マンガ・ベンチ・コレクション」は、②日立駅周辺エリアとなります。

※グラフィックコンクリート(graphic concrete)は北欧フィンランドで開発された、デザインできる洗い出し仕上げコンクリート技術です。PCコンクリートに最適な美しい仕上げとしてご提案しています。